

6082

獨立混成第四旅團司令部  
通信補給衛生計畫

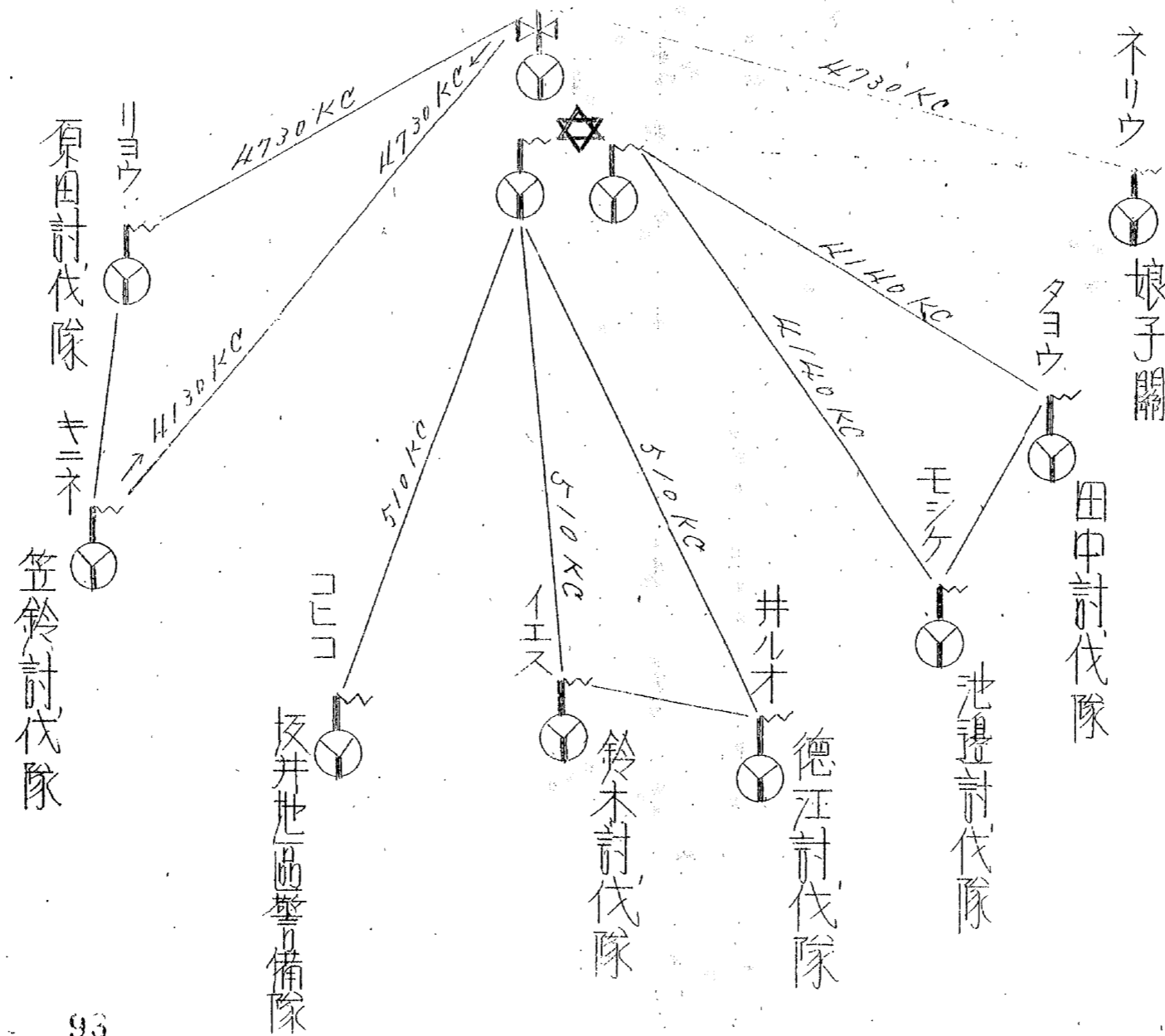
昭和十五年九月六日

第一通 信

一、旅團通信隊長ハ九月七日十六時迄ニ別紙ノ如ク通信彙  
 ヲ構成スルモノトス

二、其ノ他ハ晋中作戰通信計畫ニ依ルモノトス

# 無線通信網要圖 (九月七日火降)



陽白永—昔陽—和順—寒王鎮—遼縣ハ  
對所毎ニ連絡スルモノトス

別紙

一 赤團通信隊長ハ左記ノ如ク通信系ヲ變更ス  
赤團司令部ト各討伐隊間ノ連絡ニ任スルモノトス

二 其他ハ音中作戰通信計畫圖ニ依ルモノトス

第三補給

一 彈藥ノ補給

各討伐隊ハ左記ニ依リ射料彈ノ補給ヲ受クルモノトス

左記

1. 田中討伐隊

陽泉苑團兵器班

2. 池邊討伐隊

和順警備隊

3. 笠鈴討伐隊

石田村集積彈藥ヲ地方駄馬ニ依リ九月七日夕長城鎮ニ於テ

交付〔遼縣警備隊長ハ前頂駄馬ノ徵備及彈藥ノ

給ヲ担任スルモノトス〕

4. 鈴木討伐隊

昔陽警備隊

品目	笠鈴部隊	鈴木部隊	田中部隊	池邊部隊
三八式銃實包	二八、八〇〇	四八、二〇〇	四三、二〇〇	三六、〇〇〇
九二式重機實包	一〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	一七、五〇〇	九、〇〇〇
九二式步兵砲榴彈	三〇	一三〇	一〇〇	九六
九四式山砲榴彈	四〇	二六〇	一一〇	一〇〇
同 友 彈		四〇	三八	二〇
九八式重擲榴彈	三二〇	六〇〇	四〇〇	一九五
曳火手榴彈	二〇〇	一六〇	五五〇	一〇〇
三二式山砲榴彈				一〇〇
集積地	石匣村	昔陽	陽泉	和順

左記

5. 徳江原田部隊補給の状況ニ應テ其ノ都度ニス  
 6. 右所要ヲ左記ノ通り推定シ各地ニ集積シアリ

第三 糧秣ノ補給

一 各討伐隊ハ作命甲第六ニ號別冊計畫ニ準テ七日分ヲ裝備携行スルモノトシ左記ニ依リ補充スルモノトス  
 田中討伐隊

陽泉野戰倉庫ヨリ補給整正備スルモノトス

鈴木討伐隊

昔陽集積糧秣ニヨリ整正備スルモノトス

池邊討伐隊

和順集積糧秣ヲ同地數ヨリ備隊ヨリ受領整正備スルモノトス

笠簀討伐隊

石匣村集積糧秣ヲ地方徴備駄馬ニ依リ九月七日夕長城  
 鐵ニ於テ交付一部ハ駄馬共ヲ受クルモノトス

二 遼縣整備隊長公前頂駄馬ノ徴備糧秣ノ補給ヲ担任スル  
 モノトス之ヲ爲九月六日旅團司令部ヨリ經理部將校ニ石

匣村ニ派遣援助セラル

三 徳江原田討伐隊ノ補充ニ關シテハ狀況ニ應ジ其ノ都度示ス  
 四 宿營用品被服等ノ補給

討伐隊宿營地整言備隊ハ討伐隊所要ノ宿營用品被服等ノ交付又ハ交換ニ應ズルモノトス

懷中電灯電池ハ九月六日兵站自動車隊ヲシテ昔陽和頭石匣村ニ補給ス

第四 衛 生

一 各討伐隊ハ現ニ實施シアル切ク衛生隊若干ヲ編成シ救護ニ任スルモノトス

二 笠笠計伐隊ハ傷者アラハ輜重小隊ト共ニ長城鎮ニ前進シ遼縣整言備隊醫務室ニ送ルモノトス

三 鑛木討伐隊ハ昔陽ニ池邊討伐隊ハ遼縣ニ患者救護所ヲ

設置シ傷者ヲ收容スルモノトス

四 司令部附軍醫西佐官ハ兵死自動車ヲ利用シ患者救護前

ノ傷者ヲ陽自來ニ後送スルモノトス

五 傷者ノ發生ノ場合ハ速報ヲ不足衛生材料ハ速ニ請求スルモノトス

獨混四旅作命甲第六五三號ニ基ク高級參謀指示

一 獨混四旅作命甲第六五六號ニ基ク指不事頂第三角ニ

ニ勵行スルモノトス

二 敵情ノ報告ハ具體的ナルト共<sup>別</sup>決推定ハ理由ヲ附初スルモノトス

三 射耗彈概數報告ハ戰鬥毎ニ提出スルモノトス

四 打發藥不焚ハ努メテ之ヲ携行返納スルモノトス

五 止ム得ス兵器ヲ敵手ニ委ヌルノ慮アル時之ヲ完全ニ破壞シ



其ノ一部ヲ携行ニ努ムルモノトス

之ヲ計伐隊相互ヲ連絡スルヲ特ニ留意スルモノトス

三 旅團長ハ徳江部隊ヲ之ノ娘ノ関以四石太線北側世區ノ

性ヲ燼滅セシムヘク獨混四旅作命甲第六五四號ヲ下達ス

獨混四旅作命甲第六五四號

獨立混成第四旅團命令

九月六日十時

一 敵情貴官ノ知レル通り

二 徳江部隊長ハ步兵三中隊山砲兵一小隊(分缺)無線一分隊

ヲ指揮シテ六日十三時陽自水出發先ツ巨城鎮ニ到リ黃統嶺

小嶺附近ノ敵ヲ撃滅シテ爾後娘ノ關以西石太線北側世區

ノ敵性ヲ燼滅シテ八日陽自水ニ歸還シ獨混四旅作命甲第

六五四號ニホス作戰ヲ準備スヘシ

第十一裝衣甲列車隊ト連絡スヘシ

巨城鎮西方道路ヲ改修シ滞留自動車ヲ陽泉歸還ニ  
努ムヘシ

三ノハ陽泉戦闘司令所ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法

隊長ニ到達後印刷交付

四旅團長ハ旅團砲兵隊長ヲ陽泉警備隊長トシテ服務  
セシムヘク獨混四旅作命甲第六五七號

獨混四旅作命甲第六五七號

獨立混成第四旅團命令

陽 九月十六日 十六時 泉

一旅團砲兵隊長ハ陽泉警備隊長トシテ服務スヘク  
任務繼承ノ日時ハ七月十三時トス

二ノハ陽泉戦闘司令所ニ在リ

下達法

旅團長 片山少將

口達後印刷交付

九月七日

一各支隊ノ状況

(一) 鈴木討伐隊

昔陽ニ在リテ爾後ノ行動ヲ準備ス

(二) 池邊討伐隊

七日三時楊光ヨリ出發寒湖鎮一團壁村道ニ示シテ此國ヲ

掃蕩燼滅シツツ七日夕利嶺ニ進出爾後ノ行動ヲ準備ス

(三) 笠鈴討伐隊

主力ハ高崖底ニ在リテ早朝ヨリ附近部落ヲ掃蕩燼滅シテ

七日夕主力ハ高崖底ニ兵力ヲ集結ス

一部ヲ補給シ爲長城鎮ニ派遣セルモ遼縣ヨリ出發セル長城鎮  
補給中隊ノ長城鎮附近ノ敵情ニ依リ出發不能ナルニヨリ  
七日ノ高崖底ニ歸還ス

(四) 固中討伐隊

孟縣北方地區ニ在ル晋察冀邊區軍及百二十師ノ部  
約三千ノ討伐ヲ企圖シ七日十七時陽泉出發孟縣北方地區  
ニ向ヒ前進ス十九時三十分下蔭谷ニ進出シ大休息後引續キ折柄ノ蒙附ヲ肩  
ラテ前進ス

(五) 德江討伐隊

孟縣北方ニ於ケル晋察冀邊區軍及百二十師ノ徹底的撃滅  
ヲ企圖シ五時三十分巨城鎮出發途中小敵ノ敵ヲ排除シツツ  
平時清城鎮(孟縣東南方約八村)附近ニ進出ス

(六) 原田討伐隊

察討伐隊ノ戦闘協力スヘクモ時車行ヨリ壽陽出發十四時解  
愁鎮ニ進出解愁鎮ト大崎村ト四家坪道ヲ前進ス

泉討伐隊

十一時以來上羅里(孟縣北方十村)東方高地ニ在リテ約三千ノ敵ト交戦中夜ニ入ル

敵情

孟縣城周圍ニ約三千ノ敵兵(砲三重機四)アルモノ切シ

該敵ハ東方ヨリ來タリ昨六日夜山底村(河底鎮西北方四村)

ニ宿營シ十一時清城鎮ヲ通過南庄槽(孟縣南方八村)ニ向ヒ

前進セルモノ切シ

旅團長ハ孟縣城及全地北方地區ノ狀況ニ鑑ミ速ニ孟縣周圍

邊ノ敵ノ再滅ヲ企圖シ零時ニ分獨立混成旅作命田第六五五

號ヲ下達ス

獨立混成旅作命田第六五五號

獨立混成第四旅團命令

九月七日。時三十分

黃統嶺附近ノ敵ハ孟縣方面ニ移動セルカ切ク昨六日夕孟縣城

警備隊ハ迫撃砲ヲ有スル約一千ノ敵トス  
原前隊  
約三中队ハ直縣北方約十二村神泉村附近ニ於テ約  
二千ノ敵ト交戦中ナリ

一 旅團ハ一部ヲ以テ直縣周邊ノ敵ヲ撃滅セトス  
二 徳江部隊ハ速ニ直縣城ニ到リ該地附近ノ敵ヲ撃  
滅スヘシ

原田大隊長ノ指揮スル歩兵約二中队ハ本七日早  
壽陽出發神泉村附近ニ到リ原部隊當面ノ敵  
ヲ撃入ヘシ

四ノ陽泉戦闘司令部前ニ在リ

旅團長 片山少將

獨立混成第四旅團命令

獨混四旅 任命甲六五六號

一 黃統鎮附近ノ敵ハ直縣北方ニ移動セルヲ知ル昨六月  
七日一時五分

ヨリ孟縣城警備隊ハ迫撃砲ヲ有スル約一千ノ敵ト交戦中ナリ

又原部隊要兵約三百ハ神泉村孟縣北方約十二村附近

ニ於テ朝來約二千ノ敵ト交戦中ナリ

二旅團ハ速ニ孟縣周邊ノ敵ヲ撃滅セントス

三原田地區警備隊長ハ歩兵三百隊ヲ以テ成ル可ク

速ニ壽陽出發及神泉村附近ニ到リ原部隊當面

敵ヲ攻撃スルヲ要ス

田中六隊ノ歩兵一中隊機関銃一小隊(分隊及總

ヲ除ク)ヲ七日二時陽泉出發日朝車上行ニ依リ壽陽

ニ到リ原田部隊長ノ指揮下ニ入ラシム

該隊ヲ鐵道沿線部隊ニ使用ス

德五部隊要兵三百由下陸二門ハ七日早朝巨成嶺出發

孟縣城附近ノ敵ヲ攻撃スル筈

四三ノ陽泉戦團司令官在リ

赤團區 片山少將

下達法

番報後及印刷付

四軍作命田中第一七四號ニヨリ赤團區公笠鈴計依隊ヲシテ  
又降鎮附近ニ於テ苦戰中一ナル非レテ上部部隊永野支隊  
ヲ急接セシムヘク命セラレ

赤團區以ハ一面縣城附近ノ敵襲ヲ戒ム為更ニ兵力ヲ増強  
スヘク十四師獨混四旅作命田中第一七八號ヲ下達ス  
獨混四旅作命田中第一七八號

獨立混成旅第一四旅團命令 附 五月十四日 獨

一 京師ハ昨六日正午頃以來神島村附近ニアリテ優勢  
ナル敵ト對戦中ナリ

又別敵ハ一面縣城周邊ニ昨六日來悉次兵力ヲ増  
加シ時刻以來攻撃ヲ開始セルモノト知ラ



原田地区に警備隊を以て備置し、以て本七日四時許陽出及歩兵約  
二一中隊ヲ以テ宗支鎮一三田川一三田川村一六園村道  
二沿上神原村西方地区に警備隊を以て備置し、併せて指揮シ  
敵ノ襲撃ヲ企圖ス

德五地区に警備隊を以て備置し、以て本七日四時許陽出及歩兵約  
分ヲ指揮シ、本七日六時許三田川巨敵鎮附近に出発シ、上田原  
ヲ經テ益縣北方に前進シ、同地区に警備隊ヲ襲撃シ、全隊又  
二旅團ハ再ニ兵力ヲ増強シ、直縣縣城附近にテハ敵ノ  
襲撃ヲ防セシメス

三田原大隊歩兵一中隊及隨小隊(分隊込)ハ本七日十時  
陽出及歩兵約益縣東方地区に警備隊ヲ經テ益縣北方地区に  
出シ、深ク敵ノ側面を以テ襲撃シ、之ヲ襲撃ス、以テ

四三田原大隊警備隊司令官ハ在リ

旅團長 片山少將

下等法大隊二連ヲ以テ本七日十時後陽出及歩兵約

六旅團長以下獨混四旅作命甲第659號ヲ下達シ旅

團長兵隊ニ陽泉——孟縣間ノ道路修理ヲ命ス

獨混四旅作命甲第659號

獨立混成第四旅團命令

陽 七月十一日

一旅團長兵隊以下左記ノ作業隊ヲ編成シ陽泉

孟縣間ノ道路修理ヲ實施ス

左記

作業隊

長 米村工兵中尉

工兵小隊番号ニマヲ附ス

後護隊(獨歩第156隊ノ小隊編四)

兵站自動車一分隊(六輛)

二獨混步兵第156隊長兵站自動車第四中隊

長八前頂部隊ヲ九月十四日四時工兵隊兵營ニ差遣シ

作業隊長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ  
三ノ八陽泉殿團司令部在リ

旅團長 片山少將

下達志口達後印刷交付

九月八日

各支隊ノ行勢

(一) 鈴木討伐隊

討伐隊ハ昔陽ニ在リテテ爾后ノ行勢ヲ準備中ナリ  
白池之討伐隊

和順ニ於テテ爾后ノ行勢ヲ準備中ナリ

(三) 笠倉討伐隊

高産衣出及池ノ上部隊永野支隊ニ協力ノ為ニ降  
鎮ニ向ヒ急進シ十六時以降鎮ニ進出永野支隊ニ連絡  
ヲ完了シ八日夜同地ニ於テテ爾后ナリ

(四) 田中討伐隊

八時清城鎮ニ進出引續キ温地ル村(置縣東南八村)ヲ經テ十六時四十分牛村鎮ニ進出シ同地ニ於テ道路破壞シノ敵性分子十八名ヲ逮捕シ置縣北方ニ向ヒ前進申

④ 徳五討伐隊

七時一部ヲ以テ傳家腦(清城鎮東北方三村)西方高地ヲ確保セシメスヲ以テ清城鎮(置縣東南方八村)ヲ攻撃シ同地ニ進出入十四時清城鎮出發冠着村(清城鎮西方四村)附近ニテリタル殘敵ヲ排除シツ十八時東坪村(置縣東南方約三村)ニ進出置縣警備隊連絡ヲ完了ス

⑤ 原田討伐隊

ニ時三十分本峯村(泉芝鎮東北方十三村)ニ進出七時同地出發下王村——大團村——神泉村並ニ神泉村ニ向ヒ前進申ナリ

二 敵情

(一) 遼縣方面

長城鎮(遼縣西方約八料)北側高地附近(約半  
五石)敵陣地ヲ構築スルモノ如シ  
右屯村(遼縣西免八料)川口村間ニ敵約五百  
本朝來陣地ヲ構築スルモノ如シ

(二) 和順方面

和順ニ於テ得タル捕虜ノ言ニ依ルニ敵ハ我ハ攻撃  
ニヨリ敗走セルモ現在遼縣北方地區ニ在リ如ク其  
力ヲ集積シ高地ヲ占領中ニシテ又馬家莊(遼縣西  
北方十五料)ニ八七六九團ノ主力(馬家莊)ニ二九師  
部趙家莊(塞王鎮)北十二料)ニ八七六九團部アリ兵  
計二千ナリト

(三) 直隸方面

縣城周圍約四一五料部落ニ何レモ敵兵アルモノ如ク各  
高地ニハ連日監視兵アリ

2 孟縣城附近ノ敵ハ城武村(孟縣北方約四料)附近陣  
地ヲ構築ス其ノ主力ハ商家庄(石)村附近ニ在ル  
ノ如シ

3 飛行機ノ通報ニ依リ孟縣―袖泉村道ハ無数ニ破壊セ  
アリ尚敵ハ孟縣―四小坪道孟縣―長池鎮道

孟縣―潘河村道ノ三道ヲ破壊シツツアリ  
孟縣東北方約四料吉向地稜線上ニ工事中ノ敵ヲ認メ  
其長池鎮東方吉向地ニモ占在ス

4 孟縣附近ノ敵ハ逐次南方ニ移動シテ泥河村及黃侯村  
附近ニ約一ムロアリト

三 軍作命申第ニモ八號ニ依リ野戰自動車廠六原支廠移動  
修理班ノ壽陽ニ於ケル宿營ヨリ簡養ノ區處ヲ命セラル

四 旅團長ハ十四時獨混四旅作命申第六日號ヲ下達シ  
陽泉警備隊長ニ第十一裝甲列車隊ノ陽泉以西進出  
ニ即應シ陽泉以東ノ鐵道警備ヲ圖魯日セシム

獨逸四旅作命第六六〇號

獨立混成第四旅團命令

陽 八月十四日

陽泉整〇備隊長ハ陽泉以東ニ現ニ配置セル鐵道整〇備  
兵力ヲ以テ第一上裝甲列車隊ノ陽泉以西進出ニ即應シ  
陽泉以東ノ鐵道整〇備之區里白クマシ

旅團長 片山少將

下達法

〇達後印刷交付

九月九日

一各討伐隊ノ狀況

各支隊ノ果敢ナル討伐ニ依リテ大嶺南側地區ノ共產軍  
二三九師ハ隨所ニ甚大ナル打撃ヲ受ケタルモ尚有力ナル敵ハ各  
所ニ分散執伏シアリテ機ヲ見テ武力及地下工作ニヨリ

再起ス企圖シアルモ、如シ

芥園ハ此ノ敵ヲ徹底討ニ覆滅掃蕩スル目的ヲ以テ第一期作戰ヲ復行シ九月九日鈴木地邊ノ兩討伐隊矣。昔陽及和順ヲ悉ク塔鎮横谷村及馬坊鎮ヲ合ニ地区ニ向ヒ前進ス

イ 鈴木討伐隊

七時三十分昔陽北麓ニ縱隊トシ前進申シ九時半迄、昔陽西北上ニ在リ西方一料高向地ニ進出引續キ十八時北溝村ニ進出ス一部ハ同時頂葉莫家庄(昔陽)西ノ二料(西北)方高地ニ必テ約百ノ敵ヲ攻撃コレヲ西上南方ニ撃退シ十九時北頭村ニ於テ主力ト命ス

ロ 池邊討伐隊

早朝和順出發ニ縱隊トナリ前進途由一帯道ヲ肅正掃蕩シツ、十七時三十分盛家庄(和順)北ノ二料ニ進出ス

ハ 笠鈴討伐隊



(四)

八時又峰嶺出發榆社に向ふ前赴由十時三十分榆社  
進出ス討伐隊ハ吾日南方面ノ状況ニ依リ當兵團  
ノ配属ヲ解カレ原前屬ニ復歸ヲ命セラル  
田中討伐隊

八時三十分石右村(置縣東々北西料)ニ進出同地北方核  
線ノ敵ヲ攻撃十時同地ヲ占領シ引續キ龍有村  
南方高地ノ敵ヲ捕獲コレニ敵營前打撃ヲ俱ヘテ  
敵約三千八捕水若石(龍泉村東方約六料)東西ノ線  
ヲ越テ遠ク北方及西北方ニ逃走セリ部隊ハ更ニ原  
由討伐隊ト連絡スヘク甚区池嶺ニ剛進由一原由  
討伐隊置縣北方進出シアルヲ知ル同夜芝角  
村(置縣北方八料)ニ進出ス

賊果 遺棄死体

一〇以上

捕虜

三

小銃

三七

(五) 徳江討伐隊

其他彈藥被服 多数

拳銃

車迫撃砲

無 榴弾

八時直隸北関ニアリ部隊ハ引續直隸北关ノ敵

ヲ追撃シツ、十五時一部ヲ以テ上羅里主ヲ以テ磁

家空(善)池鎮東方四料)南方高地ニ進出ス

備面ノ敵主力ハ悉ク東北方ニ退却セリ

討伐隊ハ上羅里、羅里掌子附近ニ戰場掃除ヲシテ

タル後十日三時三十分直隸ニ歸還ス

(六) 原田討伐隊

討伐隊ハ八時以來途中ニ殘敵ヲ掃蕩シツ、九日

早朝直隸北关)神泉村ニ進出同地附近ニアル若

干ノ敵ヲ攻撃シ二十時直隸ニ進出ス

~~1640~~

(七) 原計以隊

九月七時三十分敵ノ重圍ヲ突破孟縣ニ到着ス

(八) 西煙鎮警備隊ハ八日以來三〇師村一ノ攻撃ヲ

受ケアルモ寡兵直ク奮闘シ六時三十分一時敵ヲ撃退

セルモ敵ハ依然警備隊ヲ包圍シアリ爾來救度ノ敵

襲ヲ受ケルモ連日直ク待闘シアリ

(九) 旅團ハ西煙鎮警備隊ニ接洽シ爲步兵中隊ヲ

壽陽ニ待期セシメ陽泉ヨリ高崎部隊ノ一小隊ヲ

九日十時出發及壽陽ニ向ヒ急進セシメタリ壽陽ニ

於テ待期中ノ歩兵中隊(青團)中隊ハ高崎

部隊ノ一小隊ノ到着ヲ待テ十八時壽陽出發

壽陽ハ西煙鎮道西側地區ヲ急進中ナリ

二 旅團長ハ一部ヲ以テ西煙鎮周辺ノ敵ヲ撃滅シ

同地警備隊ヲ救援スヘク十五時獨混四亦作

命由第六六三號ヲ下達ス

獨混四旅作命由第六六三號

獨立混成旅團命令

昭和二十一年十一月  
陽

一 西煙嶺前備隊ハ八日以來敵ヲ攻撃マシテ數度之

ヲ撃退シタルモ敵ハ尚軌制ニ以テ攻撃ヲ反復シツアリ

二 本團ハ一部ヲ以テ西煙嶺周圍ノ敵ヲ撃滅シ同地

警備隊ヲ救援セントス

三 吉岡大尉ハ吉岡隊指揮機關及高崎部隊

麥野小隊(小型無線)ヲ附ス十六時頃壽陽列着第

田中大隊(廣野)中隊ヲ併セ指揮ヲ可成速ニ壽

陽出發西煙嶺附近ニ到リ同警備隊ヲ攻撃セル

敵ヲ撃滅ス

撃滅後同隊陣地ヲ補強シ且一部ノ彈藥ヲ反糧

林ヲ向テ警備隊ニ補給シ速ニ壽陽ニ歸還ス

四 八陽警備隊ヲ司令官在任

1637

旅團長 片山少將

下達 去 傳旨 雷 報 印 副 交付

旅團長 以 八 十 六 時 獨 混 回 報 作 命 印 第 六 六 三 號

下 達 ス 佐 藤 中 隊 ラ シ テ 三 都 村 ラ 檢 索 ス

獨 混 回 報 作 命 印 第 六 六 三 號

獨 立 混 成 第 四 旅 團 命 令 陽 九 月 十 六 時 泉

一 陽 泉 一 孟 縣 道 一 帶 ノ 敵 情 偵 察 官 ノ 知 ル 通

二 佐 藤 中 隊 ノ 速 三 日 前 報 依 リ 三 都 村 附 近 三 急

行 シ 三 都 村 ラ 檢 索 ス

又 沿 道 各 村 落 對 シ 道 路 變 護 關 シ 嚴 密 佈 告

憲 兵 通 譯 各 一 鳩 附 入

旅團長 片山少將

下 達 去 日 後 印 副 交 付

四 一 軍 作 命 印 第 二 七 九 號 依 リ 第 三 十 六 師 團 符 鈐

部 隊 八 奈 所 屬 復 歸 命 命 セ ラル

113

1637

~~1648~~

五 旅團長ハ一軍作命田第三七九號ニ基キ獨混混四旅作命  
申第大六四號ヲ下達シ笠鈴部隊ヲ原前屬ニ復歸セシム  
獨混四旅作命申第大六四號

獨立混成第四旅團命令 陽九日十九時 泉

一 軍命令ニ依リ笠鈴部隊ハ原前屬ニ復歸セシメラル

二 笠鈴部隊(進意及迫撃)申ノ池辺部隊屬故ノ如シ

ハ楠社ニ於テアノ指揮ヲ脱シ原前屬ニ復歸スシ

速ニ楠社ヲ先ツ池縣ニ到ルヘシ

池縣ニ鐵道輸送ノ準備アリ

三 予ハ陽泉戰團司令前在リ

旅團長 片山少將

下達法 電報後印刷交付

六 田中徳江兩討伐隊ニ依リ直縣方面敵ハ大打撃

ヲ受ケ東北方及西方ニ潰走セルヲ以テ旅團長ハ該

方面討伐ヲ中止シ各討伐隊ノ第一期復行作戦

ヲ準備セシムヘクニ二時獨混回旅作命印第六六五號  
ヲ下差ス

獨混回旅作命印第六六五號

獨立混成第四旅團命令

昭和九年十月九日 皇

一 孟縣縣城周邊及其ノ北方ノ敵ハ田中徳五兩討伐  
隊ニヨリ大打撃ヲ受ケ東方及西方ニ退却セルモノ如シ  
又西煙鎮營口備隊ハ八日以來強クナル敵ノ攻撃ヲ受ケ  
ツアリテ古岡大尉ノ指揮スル歩兵兩隊半ハ九日午  
一時壽陽中發壽陽——黃丹溝——方——西郭砦——  
龍鳳砦——吉子——西煙鎮道ニ沿ヒ西煙鎮附近ニ退  
出シ敵ヲ撃退スル旨

明十日孟縣營口備隊ニ對スル強迫藥糧糧秣ヲ補給ス  
又明十日患者ヲ輸送班ヲ孟縣ニ急行セシム

二 旅團ハ孟縣北方ノ討伐ヲ中止シ各討伐隊ノ第二期  
復行作戰ヲ準備セントス

三、田中討伐隊ハ原田大隊トノ連絡任務ヲ徳五大隊ニ移譲シ速ニ陽気原ニ歸還スヘシ

西縣警備隊ニ樺林彈藥ノ残部ヲ移譲スヘシ

四、徳五大隊ハ田中大隊ヨリ原田大隊トノ連絡任務ヲ継承シ西縣ニ待期シ後命ヲ待ツヘシ

五、原田部隊ハ原田大隊ヲ掌握整理ノ後主力ヲ成ルヘク速ニ開頭村附近ヲ経テ壽陽ニ歸還スヘシ

但シ開頭村附近ニ於テ旅團ニ連絡ノ上行動ヲ移ルベシ

西縣警備隊ハ七兵士トシ其ノ陣地ヲ増強シ枕木蒐集班ノ掩護並ニ戰場掃除ヲナサシムヘシ

元原隊ノ一部ヲ西縣警備隊ニ残置シ戰場掃除ヲ援助セシムヘシ

六、予ハ陽気原戰鬪司令前ニ在リ

旅團長 片山少將

下達ヲ電報後印刷交付



九月十日

(一) 鈴木討伐隊

十日二時北原村ニ於テ迫撃砲ヲ有スル兵力不明ノ敵ヲ  
攻撃スル多ク之ヲ西方ニ撃退ス

部隊ハ該敵ヲ撃滅入レシニ縱隊トナリ六時三十分北原村  
出發及敗敵ヲ追撃シツ、十二時三十分廣陽村東北方四料  
一五八八高地ニ進出ス 續テ途中北道各部隊ヲ燒滅シ  
ツ、十二時四十分ニ進出ス

(二) 池邊討伐隊

討伐隊ハ十日早朝盛家庄出發ニ縱隊トナリ北道  
部隊ヲ燒滅シツ、十七時途中溝及上手水岩ヲ爲メ鎮  
東方回料ニ進出宿營ス

上手水岩ニ於テ左ノ隱匿兵界ヲ押收セリ

宿前交換機

宿前機

小統 彈

二六〇

(三) 赤園ノ指揮ヲ脱セル笠鈴討伐隊ハ早朝榆社出發  
光賢ニ向ヒ前進申ナリ

(四) 田中討伐隊

早朝芝角村出發 西縣ニ於テ一部ノ彈藥糧秣ヲ

警備隊ニ交付シ引續キ、殘敵ヲ掃蕩シ、陽泉ニ向

ヒ前進申ナリ 二十餘揚樹溝(陽泉北方十料)ニ進出宿營ス

(五) 徳五討伐隊

十五時直縣出發 途中敵ヲ掃蕩シ、陽泉ニ向ヒ前

進申ナリ 二十二時董候村(河原鎮西方八料)ニ進出宿營ス

(六) 原田討伐隊

西煙鎮ノ向ノ状況ニ依リ十五時直縣出發 西煙鎮救援ノ

夕同地ニ向ヒ前進セリ

(七) 吉岡中隊ハ十七時三十分西煙鎮ニ進出警備隊ヲ

急接セリ

124

1642 ~~1648~~

敵ハ吉岡山中隊ノ進出ニ依リ西煙鎮東北方山麓及  
東方石假村並ニ西南角ノ東架村附近ニ後退セリ

三 旅團長ハ一時獨混四旅作命申第六七四號ヲ下達  
シ坡頭村附近ノ賊鬪ニ於ケル高崎部隊賊傷兵ノ  
收容ヲ援助ス

獨混四旅作命申第六七四號

獨立混成第四旅團命令 九月十日一時 陽泉

一 旅團ハ坡頭村附近ノ賊鬪ニ於ケル高崎部隊賊  
傷兵ノ收容ヲ援助ス

二 兵衛自前車第四十六中隊長ハ十日一時三十分迄ニ  
兵衛自前車三輛ヲ陽泉驛ニ差出シ該隊林在尉ノ  
指揮下ニ入ラシムヘシ

三 予ハ陽泉賊鬪司令部ニ在リ

旅團長 片山少將

下達 志留前後印刷交付

~~1649~~

1643

125

四 旅團長六十時獨混回旅作命申第六六六號ヲ下達シ德

五 部隊ニ陽台取返ヲ命ス

獨混回旅作命申第六六六號

獨立混成第回旅團命令

陽台 九月十日十時

一 德五部隊八原田部隊ト連絡終ラハ速ニ血縣中發

陽台一孟縣自動申着以西ノ地區ヲ閉止シツ明十日

夕刻迄ニ陽台ニ向ヒ前進スヘシ

二 八陽台取返團司令前ニ在リ

旅團長 片山少將

下達法 電報後印刷交付

五 笠鈴部隊ノ現前屬復歸ニ伴フ池邊討伐隊

十日以後ノ移路ヲ示スヘク獨混回旅作命申第

六六六號ヲ下達ス

獨混回旅作命申第六六六號

獨立混成第回旅團命令

陽台 九月十日十四時

一、給部隊ノ原所屬復歸ニ付、池邊討伐隊ノ明

十日以後ハ左記移路ニヨリ行動ス(シ)

× 十日 麥山中溝(馬坊鎮東南方四料)ヨリ梨樹腦(馬

坊鎮南方八料)ヲ經テ油房嶺(馬坊鎮南方三料)

=

② 十日 油房溝附近ヲ南正シツ及轉十字岩(油房溝

東々北々十六料)ニ

③ 十日 寒湖鎮西側ヲ經テ胡家庄(寒湖鎮南々西々料

)ニ

× 十四日 殿上村(區城鎮南方一料)東側ヲ經テ石匣村

遼(遼)ニ

△ 遼薩友邦擊破中隊ハ別命アル迄依然配屬ス

△ 油房溝ハ將來歩一中ヲ駐兵セシムルコトアルニヨリ所

專)偵察ヲ行フモトス

旅團長 片山少將

127

1645

~~1651~~

下達去 電報後印刷交付

六 旅團長ハ陽泉警備隊長ヲシテ德地地区警備隊長ヲ討伐出動間德地地区鉄道沿線警備隊長ノ警備ニ関シ區署ヲセシムヘク左記獨混四旅作命甲第六六九號ヲ下達ス

獨立混成第四旅團命令

九月十六日 陽泉

一 陽泉警備隊長ハ德地地区鉄道沿線警備隊長ノ警備ニ関シ德地地区警備隊長ヲ討伐間區署ヲスヘシ

二 別働隊ハ旅團砲兵隊兵營口ニ位留置スヘシ

三 旅團砲兵隊長ハ別働隊ハ宿營口給養ヲ担任ス

旅團長 片山少將

下達去 日達後印刷交付

九月十日

一 各隊の行動

(一) 鈴木討伐隊

八時頃、吉口出發、三縱隊トナリ、山中沿道、節者ヲ掃蕩、燼滅シツ、新庄喬(馬坊鎮東北方八料)南方ニ料高(地ニ於テ、鳴海支隊ト連絡、横嶺村、馬坊鎮北方、東、西、東南方地區ヲ經テ、十二日夕、箱根、賊、馬坊鎮東北方約七料)ニ進出、宿營ス

(二) 池邊討伐隊

早朝、麥山、清田出發、ニ縱隊トナリ、油房溝ニ向ヒ、燼滅、掃蕩シツ、前進、十一時十分、主力ハ、梨樹坪(馬坊鎮南方、河)ニ進出、白方支隊ト連絡セリ、悉、山一部ハ、丹頭村附近ニ於テ、行干、敵ヲ擊破、續テ、油房溝ニ向ヒ、前進、由十五時十分、頂油房溝、石村附近ニ在リタル約百ノ敵ヲ急襲、之ヲ東北方ニ追擊、其ノ大部ヲ殲滅シ、油房溝附近ニ於テ宿營ス

敵遺棄死体

三

捕虜

四四

鹵獲品

小銃

七

同彈藥

三五

皇電筒機

一

(三) 田中討伐隊

討伐隊八士日八時揚樹溝出發陽泉ニ向ヒ前

進同日夕陽泉ニ到着爾日ノ行動ヲ準備中ナリ

(四) 徳五討伐隊

十日早朝黄候村出發十九時陽泉ニ到着爾後ノ

行動ヲ準備中ナリ

(五) 原田討伐隊

十日十五時西縣出發西煙鎮ニ向ヒ急進シ十日早朝

同地ニ進出シ警備隊ヲ救援附近ヲ掃蕩シタル後同地



警備隊ヲ撤去シ新ニ東郭城ニ駐兵セシメ同地ニ在リテ陣地  
ノ補強作業ヲ實施スルニ十日夕東郭城出發途巾成テ  
掃蕩シツ、アリ

二 敵情

直隸北方ノ敵ハ我カ各討伐隊ノ攻撃ニ依リ大打撃  
ヲ受ケ目下兵力ヲ上社鎮附近ニ又西煙鎮附近ニ在リ  
タル敵約三、四、百、餘、田、友、吉、口、岡、討伐隊ノ進出ニヨリ十日  
夜進軍社方面ニ退避シ兵力ヲ集結シアルモノ、如シ

三 旅團長ハ二時獨浪回旅作命申第六七號號ヲ下達  
シ田中討伐隊ヲ揚樹溝ニ待機セシム

獨浪回旅作命申第六七號

獨立道成第回旅團命令 九月十日二時五分

一 田中討伐隊ハ現在地ニ在リテ待機シ爾后ノ行動關  
スル命令ヲ待ツヘシ

二 晝食ヲ十二時迄ニ揚樹溝ニ運搬ス

三陽泉ニ來スル場合ハ彈藥糧秣地圖ヲ送付ス他  
ニ付圖ヲラハ請示スヘシ

旅團長 片山少將

下書ヲ去 電報後印刷交付

四旅團以ハ十二時獨混四旅隊依命田第六七三號ヲ下  
差シ原田討伐隊ニ三角山方面ノ敵ノ擊滅ヲ命ス  
獨混四旅隊依命田第六七三號

獨立混成第四旅團命令 附主日十二時 泉

一三角山附近ニハ尚五六百ノ敵アルモ、勿シ  
其ノ一部ハ龍門町友界白村附近ニ出シ諸隊依在  
シアリ

二原田討伐隊ハ三角山方向ニ前進シ速ニ附近ノ敵ヲ擊  
滅スト共ニ附近ノ敵性分子ヲ熾滅ノ上歸還スヘシ  
三三八陽泉隊團司令部ニ在リ

旅團長 片山少將

下達去 印刷交付 (第田部隊ニ空印投下)

五 旅團長ニ獨混四隊作命甲第五六號ヲ下達シ

丸山小隊ニ壽陽ニ於テ自刺車第千四聯隊ニ兵糧

彈藥燃料ヲ受領ヲ命ス

獨混四隊作命甲第五六號

獨立混成第四旅團命令

九月十一日 時 泉

一 丸山中尉ハ部下小隊(輕裝表田車小隊ヲ除キ其始自

刺車小隊ニモ轉掩護隊共)ヲ附スヲ以テ附十三日八時陽

泉並發及壽陽ニ到リ自刺車第千四聯隊ノ輸送スル

兵糧彈藥燃料ヲ受領シ同日由ニ陽泉ニ歸還

スヘシ

二 兵站自刺車第千四中隊ニ前項部隊ヲ入時

其ノ兵舎ニ於テ丸山中尉ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

三 輸送ノ細部ニ関シテハ參謀ヲシテ指示セシム